

* 12月4日から10日までは、第74回人権週間です。世界人権宣言や人権尊重について考える機会にしましょう。*



「われわれの生涯は短い、だが学問の道は永遠である」

～羽島からロシア（世界）へ、世界初の露日辞典の著者・少年ゴンザに学ぶ～

校長 高田 百香里

私の生まれ育ったところは指宿市の山川港側（そば）。いちき串木野市は昔からマグロ漁の盛んな町として有名ですが、山川はカツオ漁の港町。羽島の町の雰囲気と山川の港町とは似ているところが多くあるなあと日頃から感じています。

20年近く（あるいはそれ以上）前になりますでしょうか、「ゴンザという漁師の息子が父親と共に薩摩の港から出港し、嵐に遭い漂着したロシアで活躍した。その薩摩の港は諸説あるが山川港だったのではないか。」という説を耳にし、「ゴンザが、私の町の人だったらうれしいなあ。」と歴史のロマンにわくわくしたことを覚えています。

今年の4月に羽島中学校へ着任し、しばらくして羽島崎神社へ参拝に伺ったところ、なんと！本殿横に「ゴンザ神社」があり、「学問の神様」として祀られていることを初めて知りました。

先日の11月13日（日）に羽島崎神社において「ゴンザ顕彰祭」が行われ、ゴンザと羽島についてあらためてお話を伺う機会を得ました。また、羽島史跡顕彰会（ゴンザ生誕祭実行委員長）の川口勝則さんにも貴重な資料を見せていただきながらゴンザの生涯、残した功績の素晴らしさをお聞きしました。

「1728年、薩摩の港を出港した11歳の少年ゴンザ。乗っていた船が遭難し、カムチャッカ半島に流れ着いた。一緒に乗っていた乗組員17名のうち15名が目の前で命を奪われ（その中にゴンザの父親もいた）ソウザという35歳の男性と2人、初めの2年間は奴隷として生き存（ながら）え、その後4年かけてシベリアを移動。ロシア帝国の首都サンクトペテルブルクに到着し、宮殿で女帝アンナ・イワノヴナに拝謁。この時、女帝アンナがゴンザのロシア語能力に感嘆して、その勅命でロシア語の研究と日本語教育に携わった。」そして約12000語もの言葉を収録した「新スラブ・日本語辞典」（日本語部分は当時の薩摩弁）を編纂したのです。しかもたった3年間で！ゴンザのロシアでの境遇を考えると本当に驚愕するような努力、そして素晴らしい語学能力です。ある方は「天才である」と褒め称えています。しかし、それからまもなく、ゴンザは日本に帰ることなくわずか21才という若さで生涯を閉じるようになったのです。

ゴンザの出身地はどこか？この謎についてですが、諸説あります。その中で言語学者の橋口満先生の「羽島説」の根拠を調べました。「カモメをカグメということと、ケチン（黄玉鉦）という方言」が決め手とされているようです。

なるほど、鉦石（鉦山）があることを考えるとゴンザは少なくとも指宿（山川）の人ではないようです。300年以上も昔に、薩摩からわずか11歳でロシアへ漂着し、きっと筆舌に尽くしがたい苦勞をしたことでしょう。しかし、そんな苦境にも負けずにこのような誰も成し遂げられないような功績を挙げている先人がいることを私たちは忘れてはなりません。ゴンザはきっと自分が生き延びるため命がけで、ロシア語の勉強をしたのでしょう。「ンダカ シェケワ ミシカカ ナルコタ ナガカ（薩摩弁）」（われわれの生涯は短い、だが学問の道は永遠である）このゴンザの言葉を胸に、努力して学問を続けること、簡単に弱音を吐いてすぐに努力を止めてしまうのでなく・・・

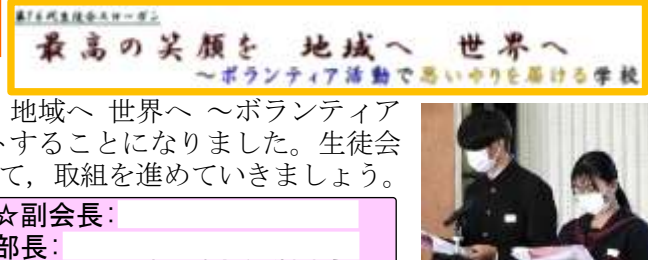
私たちはゴンザの生涯に見習うべきことがたくさんあるように思いますが、皆さんはどう感じるのでしょうか。

後期生徒会～第76代スタート

11月16日に後期生徒会を実施しました。

新生徒会ではスローガンを、「最高の笑顔を 地域へ 世界へ ～ボランティア活動で思いやりを届ける学校～」としスタートすることになりました。生徒会役員が核となり、よりよい学校づくりを目指して、取組を進めていきたいと思います。

【後期生徒会役員】 ☆会長： ☆副会長：
☆文化部長： 副： ☆保体部長：



文化祭 ～我夢者楽(がむしゃら)25人らしくあれ！ みんなでつくった大傑作～

11月2日、昨年度と同様に本年度の文化祭も、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、観客は保護者に限らせていただき、時間や演目を縮小し、作品の展示場所も校舎内として開催しました。

生徒たちは、「進劇～我夢者楽(がむしゃら)25人らしくあれ！ みんなでつくった大傑作～」のスローガンを掲げ、限られた練習時間や製作時間の中で、一生懸命に準備をして当日を迎えていました。

参観していただいた保護者の皆様からは、「みんな堂々と発表できていた。」「ダンスや演技が上手だった。」などと声をかけていただき、生徒たちも喜んでいました。また、舞台発表の前後の時間に、展示作品を見ていただき、日頃の学習活動を感じていただくことができました。ありがとうございました。



【英語弁論など】

【生徒会・羽島中生として】

【弁論】



【漫才師になりたいくて&ダンス】



【「扉の向こう」薩摩藩英国留学生異聞】

宿泊学習～11月のテント泊！！～

1年生は、11月9日から10日に南薩少年自然の家において宿泊学習を実施しました。11月の実施ではありましたがテント泊としました。

テント設営や野外炊飯などに取り組み、集団活動を通して学級の絆を深めることができました。経験したことをこれから学校生活に生かしていきましょう。



12月の主な行事予定

もうすぐ期末テストです。計画的に学習を進め、よいしめくりを！

日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	木	3年血液教室	16	金	キャリアガイダンス・学校運営協議会
2	金	移動図書館巡回日	21	水	2年校外学習（地区専門高校フェスタ）
4	日	PTAバザー ※堆肥販売のみ	23	金	情報モラルに関する学習
8	木	人権教室	23	金	大掃除・終業式
10	土	土曜授業・ステッパラーニング	26	月	市ビブリオバトル大会
14	水	1年薬物乱用防止教室			

※牧野医院より、マスクとビニル手袋を寄贈していただきました。大切に使用していきたいと思っております。ありがとうございました。※